

# 一般質問通告書

受領日時 令和4年8月29日 午前9時00分

8番 氏名 畑澤洋子

質問項目	質問の要旨
1 大雨災害から人命を守る	<p>1 真夜中の災害を経験したが、「睡眠中であること」と「雨の音」で、防災行政無線を聞いた人は少ない。今こそ防災ラジオが必要と強く提案する。新型防災ラジオは280MHzでポケベルと同じ周波数で必ず届く。この8月に東京都中央区では1台2,000円で有償配布した。緊急時に大音量の放送とランプが自動的に光り命を救う一助になる。</p> <p>2 被災された皆様は「いつかは、こんな事態になる」と危惧していた。天災ではなく人災だと。ゴミの引っかかる橋の建て替えを望むと同時に、水道管がゴミで破損する事態を避けてほしい。</p> <p>3 広域避難所設置の考え方には理解できるが、悩んで悩んで今回は友人宅に身を寄せた人がいる。翌日、自宅は、床から1mの高さまで水が浸水していたが命は守られた。「避難所への移動はタクシーが無料になる」施策を。または町内会単位で避難所を設置する方法など考えられないか。</p> <p>4 国交省は一級河川で流域治水の取り組みをしている。町の河川は一級ではないが、総合的に診断、評価して頂き、水源から見直し河道掘削・堤防強化・雨水貯留施設・遊水地などできることから対策を始めてほしい。</p> <p>5 沢山のボランティアの方々にお世話になった。せっかくのお盆休暇と真心を、被災地へと向けて頂き、感謝と感動でいっぱいです。被災した空き家の実家に、清掃に通う方は、ボランティアのお世話になった。畳を起こして運び出して頂いたが、居間の床板は起こしてはいけないルールで困った。大工などの技術を持つボランティアは貴重だと気付いた。今後募集要項に様々な職人等との記載を考えて頂けないか。</p> <p>6 高齢者世帯の方に自分が避難するためのスケジュール、「マイタイムライン」を作成する勉強会の開催を。</p>

	<p>7 自治体の防災対策をサポートし、助言などを行う専門家として、「気象アドバイザー」を活用している自治体もある。町でも活用できないか。</p>
<p>2 町民センターでパソコン教室の再開を</p>	<p>1 社会的に「デジタル人材の育成」などの言葉がマスコミから流れる。世の中は急速にネットを基盤にした社会を作り上げた。高齢者は追いつくのに必死だが、なかなかままならない。今後の集落事情を考える時、町内会単位でネットを使える人材が必要だ。意欲のある人は沢山いる。パソコンを習える環境作りが急務だ。</p>